

### 3. 本郷の下宿屋、下宿屋街を下宿人自身が調査記録する活動

本郷館プロジェクト  
(東京都文京区)



文京区本郷6丁目にある本郷館

#### I. 活動の背景と目的

『本郷館』は、明治時代に建てられた木造三階建ての下宿屋です。近くには東京大学があり、学生街だった本郷の象徴的な存在ともいえます。他では見られない特異な建築であり、新聞や雑誌、テレビにもたびたび取り上げられてきました。

わたしたち『本郷館プロジェクト』のメンバーの多くは、この『本郷館』の住人です。が、その約100年にわたる歴史は、誰も知りませんでした。この謎を探ってみよう、記録しておこう、そんなことをきっかけに、『本郷館プロジェクト』は発足しました。

#### II. 活動の内容

##### 1. 調査

調査は、以前住んでいた方、以前の経営者のご家族、建造者の後裔にあたる方々などにお会いしてお話を伺うことを中心に行いました。当初、古い時代を知る方々の所在は分からず、様々な経緯で面会が実現されていきました。

ある日『本郷館』の前で立ち止まっていた方に声を掛けると昭和20年代の住人であったり、地元の歴史に詳しい方から昭和初期に住んでいたという名医の名前を教えていただいたとき、『本郷館』にお招きしたり、ご自宅を訪問させていただきました。以前の経営者のご家族は『本郷館』にちなんで本を書かれており、その本の存在を国会図書館で知って連絡を取り、ご自宅に繰返しお邪魔しました。一時期ある大学の寄宿舍だったことについては、その大学に勤務されている方からのご指摘で確証を得ました。建造者については、下宿屋の経営をしていた地元の方の本にわずかながらも触れられており、それを手掛かりに出身地岐阜まで調べに行き、後裔にあたる方々のお名前と連絡先を知り、後日もう一度岐阜へ足を運び、お会いするに至りました。



昭和初期の住人の方に取材  
(愛育病院名誉院長・内藤寿七郎氏)

##### 2. 記録

記録は、主に、建築の実測、お会いした方々のお話しの集約、下宿屋街としての本郷の変遷地図作成です。

『本郷館』は現在も多くの人が住み、そのプライバシーの点から、これまで本格的な実測・記録撮影はされていませんでしたが、わたしたちのメンバーには、『本郷館』に住み、かつ建築の設計や研究を職業としている者が複数おり、少しずつではあり

ながら、着実に建築としての記録を図面化し、写真撮影しました。お会いした方々のお話は、ひとつの物語風に取りまとめ、豆本に仕立てました。また、調査の過程で、本郷の下宿屋の創業者には岐阜出身の方が多くいるという事実など、街としての特徴的な歴史が浮び上がってきたこともあり、本郷の下宿屋街としての移り変わりを何枚かの地図にまとめました。『本郷館』の記録を通じて触発され、本郷の他の下宿屋に関しても、実測、写真撮影、取材を行ないました。

### 3. 地域活動

地域活動としては、本郷の歴史探索の散策会、展示会での記録の公表、地元の図書館などへの資料寄贈を実施しました。

散策会は、5月19日、6月30日、11月3日の計3回行ないました。1回目はメンバーのひとりが解説しながら下宿屋時代の名前を留めるビル・マンション・駐車場などを廻り、2回目、3回目は、地元古書店のご主人に『本郷館』界隈を案内していただきました。いずれも事前に地域の公共施設などにポスターを掲示して募った、一般の方にも参加いただけました。

展示会『本郷下宿屋街展』は、平成14年4月19日から21日までの3日間、東京文京区の区庁舎、シビックセンター内のギャラリーシビックを借りて開催しました。展示は、主に、『本郷館』をはじめとする本郷の下宿屋の図面・写真・解説、本郷の歴史の変遷を示した地図で構成しました。加えて、今回の活動を通じて知り合った方々のご好意で、昔の下宿屋を偲ぶ物も何点が拝借し展示しました。展示会開催の案内は、事前に、区の広報誌での広告掲載、地元商店や図書館、学校などでのポスター掲示、お世話になった方々などへの案内はがき郵送を行ない、多くの方に来場していただけました。とりわけ、下宿屋の経営と生活に直接関わってきた方々が相次いでいらっしゃり、『本郷館』の建造者の後裔と大正～昭和初期の経営者のご遺族が会場で邂逅する一幕もありました。

地元の図書館、区の歴史博物館へは、まとめた資料のうち主要なものを寄贈し、図書館では一般の閲覧に供していただき、博物館では郷土史料として活用いただく予定です。

### III. 活動の効果と今後の課題

活動の主な収穫としては、まず『本郷館』の建築と歴史の記録ができたこと、その過程で、下宿屋街としての本郷の歴史や他の下宿屋の記録も実現できたこと、その成果を展示会で公表、散策会実施、図書館などへの資料寄贈によって地域社会に貢献できたことが挙げられます。

また、様々な方との交流、ある意味でのコミュニティづくりにも寄与できたのではないかと思います。『本郷館』建造者の縁戚の方、以前の経営者のご家族、旧住人、本郷の他の下宿屋



元経営者ご遺族を本郷館に招き、聞き取り調査を実施



地元古書店主の方を案内役に、地域の歴史を見て歩くツアーを開催



本郷館建造者のご遺族を岐阜県に訪問取材



展示会「本郷下宿屋街展」開催  
(文京区シビックセンター)



元経営者ご遺族を本郷館に招待

を運営されてきた方々はもちろん、地元の地域史に貢献されている、古くからお住まいの方々や歴史的建造物の記録・保存・活用に携わっている方、博物館の職員の方々などとの協同の成果、それが『本郷館プロジェクト』のもうひとつの側面となりました。

今後の課題には、文化財としての『本郷館』の価値の検討と維持・保存、本郷と本郷の歴史に大きく関わった岐阜の輪中地帯との地域間交流、下宿屋という住まい方をこれからの住生活にどう活かして行くか考えることなどがあると考えています。